

7月16日（木）終業式にて 校長講話

台風 11 号が今、日本に向かって北上を続けています。今後、風雨が強くなり、明日、通常通り終業式が行えるかどうか分からないので、急遽、本日、終業式をやることになりました。今朝はバタバタさせて申し訳ないと思います。しかし、いざという時に、普段取られている行動、服装ができてこそ本物だと思います。今、整然とできている皆さんはとても立派だと思います。

さて、式にあたって少しお話をしたいと思います。

皆さんにとって夏休みは間近に迫った夏の大会の本番であり、また楽しみな40日間でもあると思います。一方では、やはりここで、生活のリズムを整えて、1学期に少し苦手だと思った勉強の復習やそういったことをやる時間がたっぷりある期間でもあります。だから、この40日間をどう過ごすかで、今度全員が集まる9月1日に大きな違いとして出ると思います。

目標は、それぞれ違っています。部活動が違えば、苦手科目も違います。それぞれ一人一人が目標を、しっかり頭にイメージをして夏休みを過ごしてください。

共通する部分で1つだけお話をします。この夏休み、命を大事にして下さい。何年前かに、こういった大雨の後、水かさの増えた川で遊んでいた中学生が溺れて命を失いました。数年前に地域の花火大会に行った女子中学生が襲われて、2学期を迎えることができませんでした。先日、岩手県で中学2年生の男子が学校でのいじめが原因で列車に飛び込み、命を落としました。

先生達は、部活動がうまくなってほしいとか、苦手教科を頑張ってもらいたいとか、早寝早起きをしてほしいとか、いくつもの願いをもっていますが、そ霊前に、みんなが自分の命を、周りの人の命を大切にしてほしいということを願っています。

命という漢字は、人の中に1つだけある、そして一番下に口と凵があります。これ、何と読むか分かりますか。叩く（たたく）と読むんですよ。みんなの体の中の1つだけの命が体の中から叩いているんです。「ぼくは生きているんだよ、わたしは生きているんだよ」と体の中から発信しているんです。それが命なんです。

この命をなくしちゃいかんぞ。粗末にはいけない。自分から絶ってはいけない。周りの人の命を奪ってはいけない。みんなの命が夏休み中、しっかり生き続け、2学期ひと回り大きくなった命が揃ってくれることを願っています。

そのための方法を1つだけ話しておきます。心配事があったら学校の先生に電話して下さい。土日だったら弥富市の教育委員会に電話して下さい。夜中でもいいです。ちゃんと先生のところには連絡が来るようになっていきます。「川で溺れている子がいる」「〇〇さんが変な人に声をかけられています」ということや、「LINEで変な画像が出回っているよ」など、危ないと思ったら、親でも、先生にでも、知らせて下さい。命を守る行動を取って下さい。2学期、みんなが命を持ち寄って集まれることを願っています。